

実践活動

資料編では、森林教育プログラムを実践した活動事例についてご紹介します。あわせて、多摩森林科学園の施設（樹木園，展示館）内で広く一般向けに作成した展示も紹介します。活動は、2006 年から実施したものです。

【事例】 1～6 小学校や高等学校と連携して実践した活動の事例

【事例】 7～14 森林教育を広めるための公開講座や学校の教員向け研修の事例

【展示】 1～3 多摩森林科学園の見学者向けに工夫して作成した室内・屋外の展示

2020 年春から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な流行により、さまざまな活動が制限されました。緊急事態宣言(2020 年4～5 月, 2021 年 1～3月,4～6月, 7～9月),まん延防止等措置(2021 年 4 月,6月,2022 年 1～3月)を受けて,多摩森林科学園でも 2021 年6月まで断続的に閉園を余儀なくされました。開園後は,展示施設(森の科学館)で,さわれるハンズ・オン展示の一時撤去,アクリルケースへの収納,入館者数の制限など,運営を工夫しました。実践活動は,2022 年から徐々に再開しました。

2023 年秋の企画展「人と森林の共生-木材利用で輝く未来-」では,パネル(林業漫画:林野庁図書資料館協力)と共に,さわれるハンズ・オン展示(林業機械の模型など)を出しました。また,視覚障害者を講師に招き,展示や森林散策を通して意見を伺う職員研修会も行うことができました(2023 年 10 月)。



写真:多摩森林科学園 2023 年秋の企画展でのハンズ・オン展示